エコアクション21
環境経営レポート

対象期間　：　2020年4月　～　2021年3月

作成日：　2021年4月30日

改定日：

有限会社 ホクエイ環境

目　　次

Ⅰ. 環境方針 (P.1)

Ⅱ. 組織の概要 (P.2～3)

Ⅲ. 環境目標とその実績 （P4～6）

Ⅳ. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容 （P.7）

Ⅴ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無 （P.8）

Ⅵ. 代表者による全体評価と見直しの結果 （P.8）

Ⅶ. 産業廃棄物処理組織の概要 （P.9～10）

Ⅷ. 活動実施状況 （P.11）

Ⅰ　環境方針

〈環境理念〉

有限会社ホクエイ環境は、青森県津軽地区において、平成13年創業以来、廃棄物処理業に係る事業活動を通じて、地域社会のために貢献してきました。

当社は、地域の環境保全を第一義に、この豊かな自然環境を次世代へ残すため、ますます深刻化する環境問題への対応が重要課題であるとの認識に立ち、全組織及び全活動に係る環境負荷の低減を図るため全社一丸となり自主的、積極的かつ継続的に環境保全活動に取り組んで参ります。

〈環境経営方針〉

1　当社の全ての事業活動において、全社を挙げて関係法令を遵守するとともに、適正かつ安全に業務を遂行致します。

2　温室効果ガス排出低減のため、収集運搬車両や重機の燃料使用量の削減を課題とし、取り組むための体制を整備致します。

3　地域社会との積極的なコミュニケーションを図るとともに、取引先に対して廃棄物の正しい取り扱い方、関連する法令知識の啓蒙活動を行い、業務の安全性の向上を目指して継続的に取り組み致します。

4　業務効率化、働き方改革の推進等労働環境整備を図るとともに、環境に関する専門的知識について学習する体制を整備し、環境負荷の低減の実現に向け、自立した社員の育成に努めます。

〈環境保全への行動指針〉

・　収集運搬車両や重機等のエコドライブ等を実践し、二酸化炭素の排出削減を推進します。また、その他の活動においても、省エネルギー活動を実践し推進いたします。

・　循環型社会の形成のため、廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上を図ります。

・　節水及び排出水の適正な管理を推進する。

・　化学物質の使用が必要な場合には、その使用を最小限に抑え、管理を徹底します。

・　使用資材等のグリーン購入を積極的に推進します。

・　受託した産業廃棄物の収集運搬・処分に当たっては、最新の公害防止技術・環境保全技術の導入に努め、適正処理を徹底し環境保全に努めます。

・　環境関連法規制等を遵守します。

・　当社のみならず、取引先等関係各位への啓蒙活動を実践し、地域の環境保全のための協力を要請いたします。

制定日：平成28年　8月30日

改訂日：令和　3年　3月30日

有限会社ホクエイ環境　代表取締役　　大　塚　晃　司

Ⅱ－1.組織の概要

1 名称及び代表者名

有限会社ホクエイ環境　　代表取締役 大 塚 晃 司

2 所在地

本　社	〒036-0402 青森県黒石市大字沖浦字権現平１番地201 電話　0172-59-7221 FAX　0172-55-2072	従業員数	8 名
営業所	〒038-0042 青森県青森市大字新城字福田65番地5 電話　017-787-2887 FAX　017-787-1678	従業員数	2 名

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	取 締 役	津 嶋 浩 志	TEL:0172-59-7221
担当者	総　務	野 呂 和 美	TEL:017-787-2887

4 事業活動の内容

●産業廃棄物収集運搬業（積替・保管あり）
●特別管理産業廃棄物収集運搬業（積替・保管あり）
●産業廃棄物処分業

5 事業規模

法人設立年月日	平成13年 3月 8日		
資本金	800　万円		
年間売上高	182,560　千円		（令和2年度）
従業員数	10　名		（本社 8名・青森営業所 2名）
廃棄物取扱量	収集運搬	1,152　t	（令和2年度）
	処　　分	1,722　t	（令和2年度）

6 認証登録の対象組織

有限会社ホクエイ環境の全組織・全活動を対象範囲とする。

7 事業年度　　４月～翌年３月

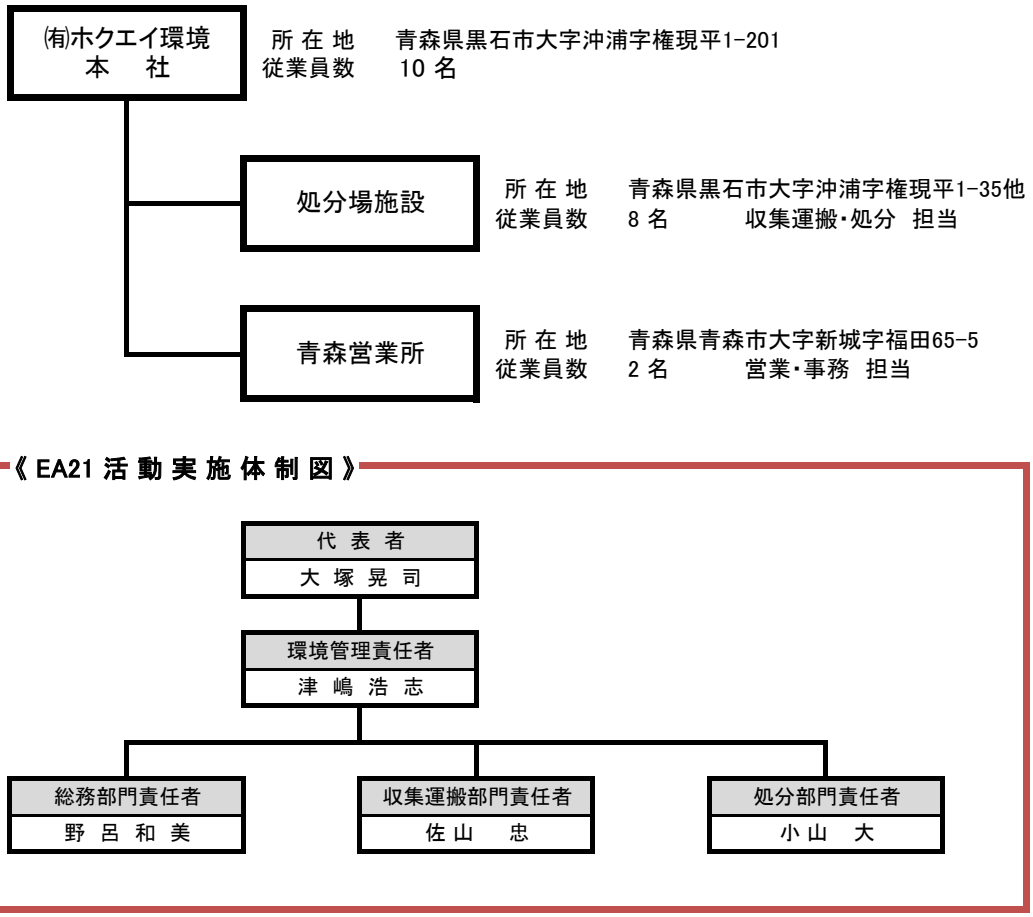
8 環境活動レポートの対象期間及び発行日

令和 2年 4月から令和 3年 3月まで

令和 3年 4月30日発行

Ⅱ-2.組織、実施体制図

（令和2年3月31日現在）



環境経営システム　役割・責任・権限表

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者（社長） 大 塚 晃 司	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備。 ・実施体制の構築 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境方針の策定 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 津 嶋 浩 志	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・問題点の是正、予防処置の指示、確認。 ・環境活動の取組状況を代表者へ報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
部門責任者 総務部門　野 呂 和 美 収集運搬　佐 山　忠 最終処分　小 山　大	担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施。 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境管理責任者の補佐
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

Ⅲ　環境目標とその実績

1.主な環境負荷の実績

当社は、産業廃棄物処理業を中心とした事業活動を行っており、環境負荷は表1のとおりです。

表1、主な環境負荷等の実績

環　境　目　標 項　　目	平成29年度 2017年4月～2018年3月	平成30年度 2018年4月～2019年3月	令和元年度 2019年4月～2020年3月	令和 2年度 2020年4月～2021年3月	備　考
1　二酸化炭素排出量の削減	91,350 kg-CO2	115,036 kg-CO2	171,757 kg-CO2	177,720.19 kg-CO2	
電力の削減	2,751 KWh	2,657 KWh	2,440 KWh	2,204 KWh	
（二酸化炭素）	1,571 kg-CO2	1,517 kg-CO2	1,393 kg-CO2	1,152.69 kg-CO2	
車両・重機燃料の削減　ガソリン	0 ㍑	0 ㍑	0 ㍑	0 ㍑	
（二酸化炭素）	0 kg-CO2	0 kg-CO2	0 kg-CO2	0 kg-CO2	
軽　油	33,558 ㍑	42,621 ㍑	64,233 ㍑	67,747 ㍑	
（二酸化炭素）	88,068 kg-CO2	111,852 kg-CO2	168,569 kg-CO2	174,789.63 kg-CO2	
灯油使用量の削減	687 ㍑	669 ㍑	720 ㍑	714 ㍑	
（二酸化炭素）	1,711 kg-CO2	1,667 kg-CO2	1,794 kg-CO2	1,777.86 kg-CO2	
2　一般廃棄物の削減	57 kg	53 kg	50 kg	45.6 kg	
3　産業廃棄物の削減	0 kg	0 kg	0 kg	34,510 kg	焼却施設一部解体による
中間処理	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	
再資源化	0 kg	0 kg	0 kg	34,510 kg	
最終処分	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg	
4　グリーン購入	3 件	5 件	7 件	5 件	
5　水使用量の削減	※雨水のみの使用	※雨水のみの使用	※雨水のみの使用	※雨水のみの使用	
6　地域貢献活動	4 件/年	4 件/年	4 件/年	2 件/年	

（注）購入電力の二酸化炭素排出量の算定に使用した調整後排出係数は、0.523kg-CO_2／KWhです。

2.環境目標の設定

当社では、環境目標を表2のとおり設定し、環境負荷の削減等に取組んでおります。

2　環境目標の設定

表2 環境目標（平成31年度～令和3年度）

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率（%） 単位	基準年度 基準値	年度毎目標値（基準年度に対する削減(増加)率） R 2年度	R 3年度	R 4年度	中長期の目標 令和5年度～7年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率（%） kwh	H30年度 4,636	4 4,451	5 4,404	6 4,358	8 4,265
		灯油の削減	削減率（%） L	H30年度 751	4 721	5 713	6 706	8 691
		ガソリンの削減	削減率（%） L	H30年度 1,190	4 1,142	5 1,131	6 1,119	8 1,095
		軽油の削減	削減率（%） L	R 1年度 72,000	4 69,120	5 68,400	6 67,680	8 66,240
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率（%） $kgCO_2$	R 1年度 196,234	4 188,385	5 186,422	6 184,460	8 180,535
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率（%） kg	H30年度 56	4 54	5 53	6 53	8 52
	産業廃棄物の削減(自社分)		削減率（%） t	H30年度 0	産業廃棄物の排出実績はありませんでした。今後発生した場合には、リサイクル可能な物は分別を徹底し、最終処分量を極力減らすことを行動目標とする。			左に同じ
水使用量	節水	節水	削減率（%） m^3	H30年度 5	・雨水のみ使用しておる状況ですが、極力排水を減量するよう心がける。			左に同じ
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		収集運搬作業における環境配慮推進		H30年度 －	・産業廃棄物の収集運搬業務の推進に当たっては、環境影響の無いよう適切に管理し、定期的に確認する。			左に同じ
		処分作業における環境配慮推進		H30年度 －	・最終処分場維持管理計画書に基づき周辺環境の生活環境への影響を及ぼさないように適正に管理致します。			左に同じ
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率（%） 件数	H30年度 4	5	6	7	7

購入電力の排出係数は、平成30年度東北電力㈱の調整後排出係数 **0.523** を使用しました。

化学物質の使用はありません。

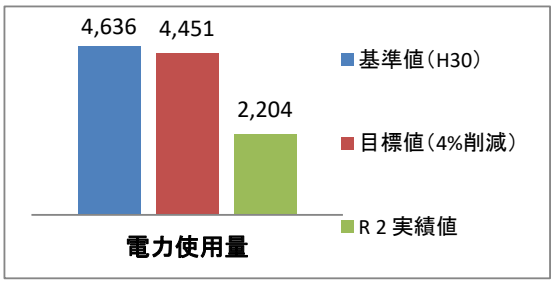
3. 環境目標の実績

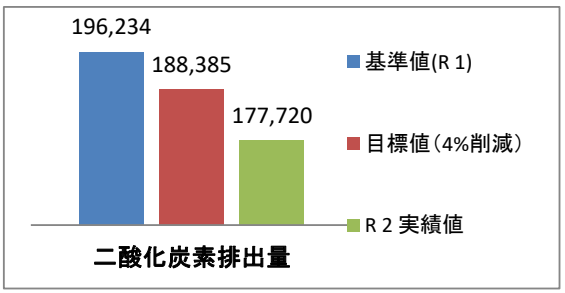
当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

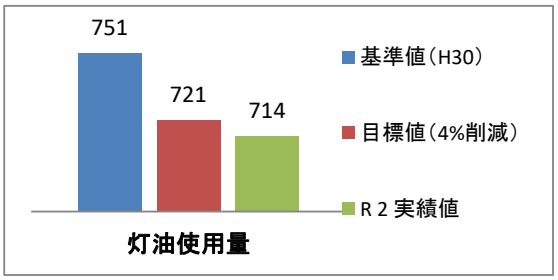
表3　当該年度の環境目標の達成状況等

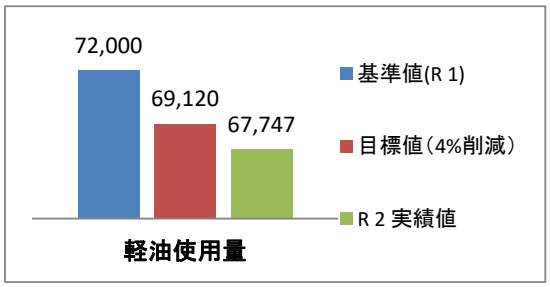
コア指標	環境方針	環境目標項目	単位	基準値 H30年度	削減率(%)	目標値	実績値	環境目標の達成状況	次年度の環境経営目標数値
					令和 2年度				
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	KWh	4,636	4%削減	4,451	2,204	○	4451　以下
		灯油の削減	L	751	4%削減	721	714	○	720　以下
		ガソリンの削減	L	1,190	4%削減	1,142	0	○	1142　以下
		軽油の削減	L	見直し(R 1) 72,000	4%削減	69,120	67,747	○	69120　以下
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	見直し(R 1) 196,234	4%削減	188,385	177,720	○	188385　以下
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	kg	56	3%削減	54	46	○	54　以下
	産業廃棄物の削減		t	0		0	34,510	―	―
総排水量	節水	節水	㎥	5 (概算)	雨水のみをしておる状況ですが、極力排水を減量するよう心がける。			―	―
化学物質		化学物質の管理推進	削減率(%) kg	0	化学物質を使用する場合は、漏洩等がないよう適正に管理し、定期的に確認します。			―	―
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		収集運搬作業における環境配慮推進			・産業廃棄物の収集運搬業務の推進に当たっては、環境影響の無いよう適切に管理し、定期的に確認する。			―	―
		処分作業における環境配慮推進			最終処分場維持管理計画書に基づき、周辺の生活環境への影響を及ぼさないように適正に管理する。			―	―
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%) 件数	4	50 6	50 6	-50 2	×	4件

購入電力の排出係数は、平成30年度東北電力㈱の調整後排出係数　0.523　を使用しました。









【評価結果】
・電力に関しては、大幅に削減され目標を達成できた。
・灯油に関しては、目標を達成できた。
・ガソリンに関しては、車両を廃止したため使用量が0となった。

・軽油に関しては、昨年基準値を見直しし、最終処分場における堰堤構築のため重機等増車、収集運搬における作業量の増加による車両の増車をしたが、目標を達成できた。

・二酸化炭素排出量に関しても、軽油使用量の見直しにより基準値を変更し、目標を達成できた。
・一般廃棄物に関しては、目標を達成できた。
・産業廃棄物に関し、焼却施設の一部を解体したことにより発生いたしました。

・グリーン購入に関しては、着実に購入量が増加している。
・地域貢献は、コロナ禍により活動が制限されたため、思うようにできなかった。

Ⅳ. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標・取組内容

環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を表4の通り作成した。なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4　主な環境活動計画の内容

環境活動計画			実施状況	評価	次年度の目標	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減						
電気使用量の削減	①	冷暖房の設定温度を決め、実行する。	○	計画通り実行された。	項目：購入電力量 基準値：　4,636　kwh 削減率：　5% 目標値　：4,404　kwh	次年度も継続して実施する。
	②	不要な照明の消灯	○			
	③	夜間、休日は、OA機器等の電源を切る。	○			
	④	クール・、ウオームビズ等の工夫をし、冷暖房の使用を控えている。	○			
重機・車両燃料の削減	①	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図っている。	○	計画通り実行された。	項目：購入燃料 基準値：　72,000　ℓ 削減率：　5% 目標値：　68,400　ℓ	次年度も継続して実施する。
	②	エコドライブ等運転方法の配慮を励行している。	○			
	③	タイヤの空気圧は定期的に確認し、適正値を保つように務めている。	○			
	④	排ガスや騒音レベルを抑えるため適正な整備を行っている。	○			
灯油等燃料の削減	①	冷暖房の設定温度を決め、実行する。	○	計画通り実行された。	基準値：　751　ℓ 削減率：　5% 目標値：　713　ℓ	次年度も継続して実施する。
	②	窓の開閉等により外気取入れ量調整して室温を調節している。	○			
	③	クール・、ウオームビズ等の工夫をし、冷暖房の使用を控えている。	○			
廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の削減	①	使い捨て製品の使用や購入を抑制している。	△	当社は、上水道設備が無いため、紙コップ等使い捨て製品を使用せざるを得ない部分もあるが、努めてその使用量を減らすよう創意工夫をし取り組んで行く。その他の部分はほぼ計画通り実行された。	基準値：　56　kg 削減率：　5% 目標値　：53　kg	次年度も継続して実施する。
	②	再使用又は、リサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している。	○			
	③	商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している。	○			
リサイクルの推進	①	分別回収ボックスを配置し、ゴミの分別を徹底している。	○	計画通り実行された。		次年度も継続して実施する。
	②	発生したゴミは可能な限り圧縮等を行い、減量している。	○			
	③	コピー機、インクカートリッジ等の回収ルートを確立し、リサイクルを図っている。	○			
水使用量の削減						
水使用量の削減	①	雨水の貯留タンクの設置により雨水を利用している。	○	計画通り実行された。		次年度も継続して実施する。
	②	日常的に節水を励行している。	○			
化学物質の管理						
使用薬品の適正管理	①	化学物質の管理の徹底・使用量の把握をしている。	○	化学物質の使用は無かった。		今後使用することが必要となった場合にきちんと対処できるようにする。
グリーン購入						
グリーン購入の推進	①	環境に配慮した物品等の購入している。	○	計画どおり実行された。	基準値：　5　品目 増加率：　20% 目標値：　6　品目	次年度も継続して実施する。
	②	環境ラベル認定製品を優先的に購入している。	○			
	③	再生材料から作られた製品を優先的に購入している。	○			
事業活動における環境配慮						
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分に関する取組	①	受託した廃棄物の計測・搬入管理を行っている。	○	計画通り実行された。		次年度も継続して実施する。
	②	事業場周辺の環境モニタリング等を実施している。	○			
	③	事業場周辺の環境モニタリング等の結果を公表している。	○			
	④	事故防止及び事故発生時の対応マニュアルを作成する等、体制整備を図っている。	○			
	⑤	優良認定制度における基準に基づき、情報の公開を行っている。	○			

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない

Ⅴ　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、令和 3年 3月30日にチェックリストで確認し、その結果法令違反はありませんでした。また、過去3年間、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

Ⅵ　代表者による全体評価と見直し結果

エコアクションを導入して4年あまりが経過し、活動及び勉強会等を通しても従業員の環境に対する意識向上が感じられ定着してきたように思われる。反面マンネリ感も見受けられるので、職員の想像力と自由な発想を活かすことができる環境づくりや、各活動の取り組みを今一度周知徹底を図り、実効性の高い取り組みを継続したいと考えております。

当期においては、昨年度に続き最終処分場の堰堤工事並びに、収集運搬車両の増車等もあり、軽油の使用量が増加しそれに伴いCO_2排出量も前年を上回ることになったが、排出目標値はクリアできているので良かったと思います。又、新型コロナウイルス感染症が流行中、感染性廃棄物を取扱う関係上医療機関との取引が多く、感染予防対策を講じ感染者を出すことなく一年を終えることができました。活動に対して色々な制約を受け思い道理にならない部分もありましたが、引き続き安全第一を心掛け感染症対策を徹底した上で活動を継続し、社会貢献ができるよう努めてまいりたいと思います。

Ⅶ 産業廃棄物処理組織の概要

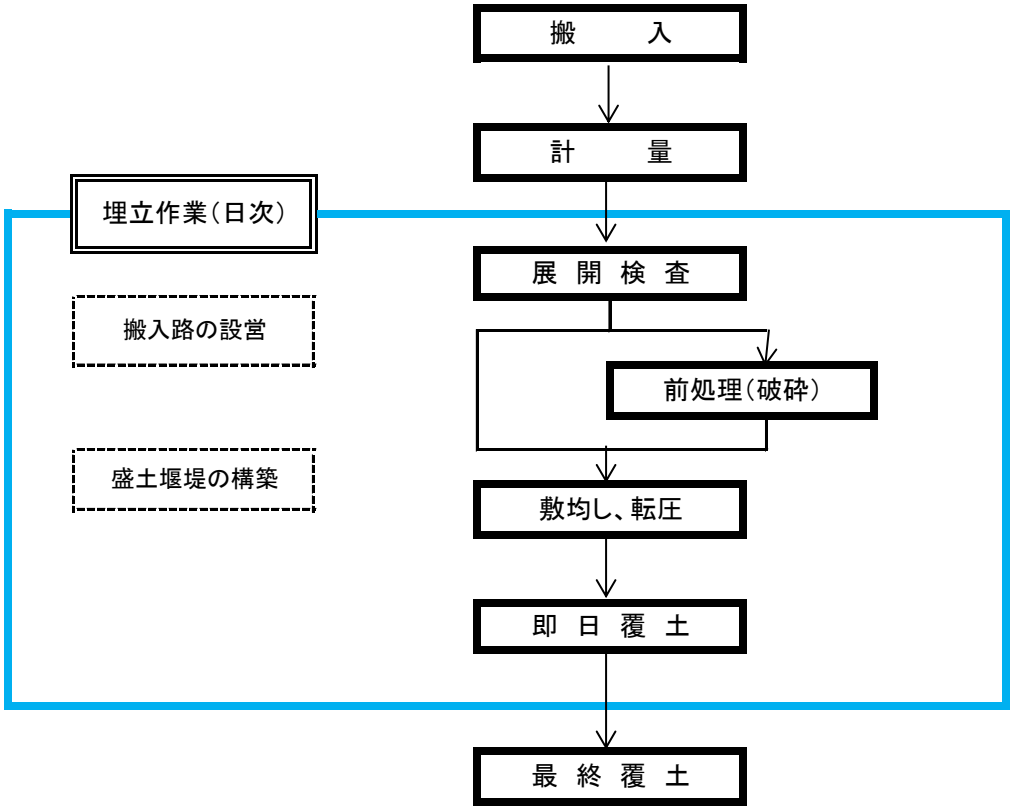
1.許可内容

（平成30年3月31日現在）

許可等の名称	自治体名	許可番号	許可・有効期限等	事業範囲等
産業廃棄物 収集運搬業許可	青森県	00210076199	許可 平成28年9月1日 期限 令和3年8月31日	積替え又は保管の有無 有り（廃プラスチック類に限る。） 廃棄物の種類 燃え殻　汚泥　廃油　廃酸　廃アルカリ　廃プラスチック類　紙くず　木くず　繊維くず 動植物性残さ　ゴムくず　金属くず　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 鉱さい　がれき類　ばいじん （これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除き、自動車等破砕物及び 石綿含有産業廃棄であるものを含む。）
特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可	青森県	00260076199	許可 平成28年9月1日 期限 令和3年8月31日	積替え又は保管の有無 有り（感染性廃棄物に限る。） 廃棄物の種類 廃油　揮発油類、灯油類及び軽油類 廃酸　水素イオン濃度指数12.5以上のもの 廃アルカリ　水素イオン濃度指数2.1以下のもの 感染性廃棄物 鉱さい　鉛又はその化合物を含むことのみにより有害な物に限る 廃石綿等 ばいじん　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、又はダイオキシン類を含むことのみにより有害な物に限る 燃え殻　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、又はダイオキシン類を含むことのみにより有害な物に限る 廃油　トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1，2-ジクロロエタン、1，1-ジクロロエチレン、シス-1，2-ジクロロエチレン、1，1，1-トリクロロエタン、1，1，2-トリクロロエタン、1，3-ジクロロプロペン、又はベンゼンを含むことのみにより有害な物に限る 汚泥　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、又はダイオキシン類を含むことのみにより有害な物に限る 廃酸　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物を含むことのみにより有害な物に限る 廃アルカリ　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物を含むことのみにより有害な物に限る
産業廃棄物 処分業許可	青森県	00240076199	許可 平成29年6月7日 期限 令和4年3月27日	中間処理：破砕　廃プラスチック類（自動車等破砕物は除く。）※注1 最終処分：埋立　廃プラスチック類　ゴムくず　金属くず　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　がれき類（これらのうち、自動車等破砕物、廃プリント配線板（鉛を含むはんだが使用されているものに限る。）、廃容器包装であるもの、鉛蓄電池の電極であって不溶物であるもの、鉛製の管又は板であって不溶物であるもの、廃ブラウン管（側面部に限る。）及び廃石膏ボードを除き、石綿含有産業廃棄であるものを含む。） これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。
産業廃棄物 処理施設設置許可	青森県	2-14-1-14	設置年月日 平成2年5月28日 許可年月日 平成14年5月1日	最終処分場（安定型） 埋立地の面積 26，338㎡ 埋立容量 236，489㎥
		21-8の2-4 ※注2	設置年月日 平成21年8月14日 許可年月日 平成21年8月10日	木くずの破砕施設 タブグラインダー Model-950 処理能力 104t/日（8時間稼働） 13t/時間
			設置年月日 平成21年8月14日	廃プラスチック類の破砕施設 FSM-200 処理能力 4.66t/日（8時間稼働）

注1：中間処理・木くずの破砕　につきましては平成29年3月24日付けにて廃止致しました。
注2：木くずの破砕施設につきましては、平成29年3月24日付けにて休止届を提出

2.処理工程図



3.処理実績

処理実績（令和　2年度）

最　終　処　分	処 分 量 （kg）
廃プラスチック類	350,850
金属くず	15,290
ゴムくず	30
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1,238,180
がれき類	117,290

最終処分合計（kg）
1,721,640
令和2年度末残余容量
6,590.8 m^3

収　集　運　搬	運 搬 量 （kg）
廃プラスチック類	99,900
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	8,489
金属くず	900
木くず	30
紙くず	20
汚泥	10
感染性廃棄物	1,042,886

収集運搬合計（kg）
1,152,235

Ⅷ. 活動実施状況

消火活動訓練

場内の草刈り

教育